

雲仙市観光マーケティングレポート2026年3月

UNZEN City Tourism Marketing Report

2026
March

今月の風景/雲仙の様々な山々

一般社団法人 雲仙観光局

UNZEN Destination Service



INDEX

今月のサマリー

年間訪問者数推移

今月の日別訪問者推移

今月のブロック別訪問者割合

今月の訪問者属性

今月の発地×年代比率

他都市比較

今月の特集 過去3年のデータが語る雲仙の変化：「旅マエの期待」編

満足度の3年推移：旅マエの「期待」と旅ナカの「現実」の答え合わせ

消費単価の徹底分析：期待と満足度を変えた「お金の使い道」

雲仙観光局活動報告

【2月実績】前年比109%、土曜日は+49%の大幅回復

2月の来訪者数は約145,700人（前年同月比109%）と前年を上回りました。曜日別に見ると平日114%、土曜149%、日・祝日124%と、特に土曜日の大幅な回復が目立ちます。長崎県内の近場需要が引き続き安定している一方で、長崎を除く九州圏内からの広域来訪が増加しており、冬季の温泉需要に加えてランタンフェスティバル等の季節イベントが広域集客を後押ししたと見られます。年代別では60代以上の中高年層の比率が高まり、男女比では男性56%とやや男性優位。温泉・滞在型の観光ニーズが強まる2月らしい来訪者構成となりました。

【特集①】「温泉で来る。でも、雲仙の感動はその先にある」

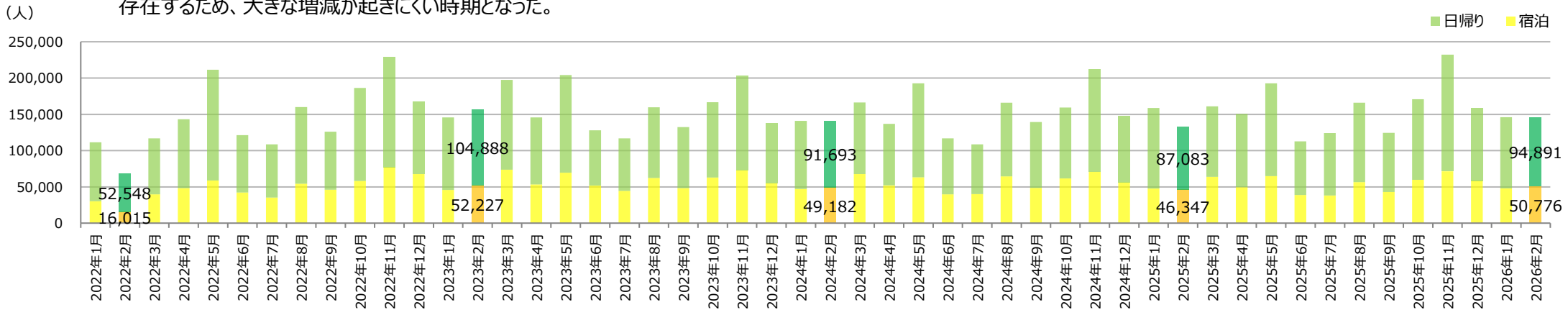
——来訪きっかけと満足度の昨年度からの推移

R7年度（2025年度）の訪問客アンケート（n=1,194名）と昨年度（n=1,341名）を比較した結果、来訪きっかけの上位4項目がいずれも構成比を拡大。「温泉（72.2%・+3.0pt）」「ホテル・旅館（48.1%・+4.2pt）」「自然・眺望（31.6%・+4.4pt）」「食（29.9%・+3.9pt）」と、雲仙の4大魅力への期待が全面的に強まっています。

なかでも注目は「まち歩きが楽しそう」が1割超え（11.1%・+3.0pt）と件数・構成比ともに拡大したこと。温泉街の新店舗情報が旅マエの来訪動機として定着し始めています。満足度の3年推移（R5～R7）では、「景観・眺望」が全12項目中で最大の改善（+0.111）を記録。来る前は「温泉目当て」でも、来た後には景色や体験で感動するという「うれしい逆転現象」がデータで裏付けられました。一方、移動・交通手段の低スコア（3.5台）が3年間改善されおらず、引き続き最重要課題です。

年間訪問客数推移（2022年からの推移）

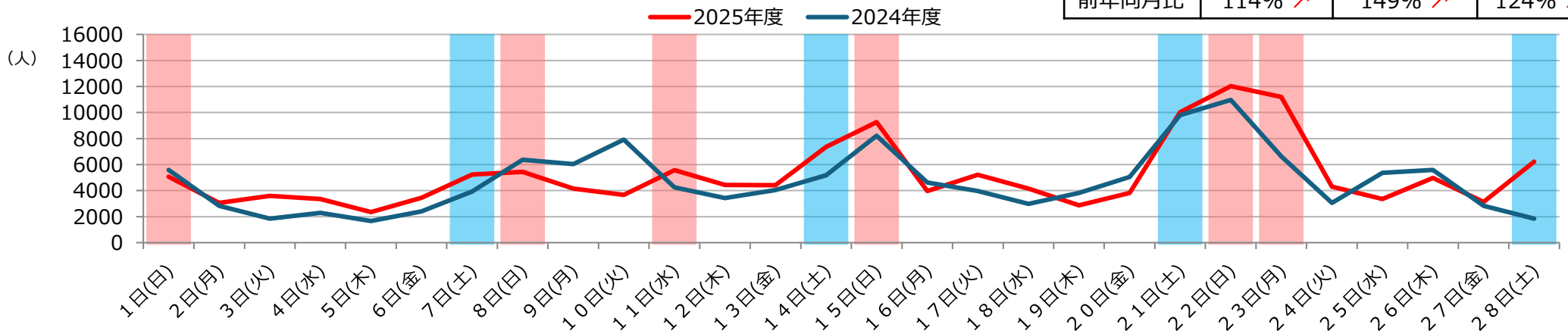
- ・訪問者数は約14万5千人と前年より上回った（2025年2月訪問者：133,430）。
- ・2月の訪問者数は前月とさほど変わらぬ数字となった。いずれも冬季の観光閑散期にあたり、寒さの影響で遠出需要は抑えられる一方、温泉目的の一定の需要は安定して存在するため、大きな増減が起きにくい時期となった。



2月の日別訪問客数推移

2月は前年と比較して全体的に来訪者が増加しており、主に季節イベントと需要回復の影響が考えられる。具体的には、ランタンフェスティバルなどの冬季イベントによる広域集客や、三連休を含む週末需要の高まりが来訪増加に寄与した可能性がある。また、前年よりも積雪などによる天候の影響が少なかったため、外出意欲の回復も後押ししたと考えられる。

	2月	平日	土曜	日・祝
今月平均		3,794人/日	7,212人/日	8,089人/日
前月比		116% ↑	107% ↑	103% ↑
前年同月比		114% ↑	149% ↑	124% ↑



※延べ宿泊滞在数（例1名が2泊3日の場合は3名とカウント）

資料）おでかけウォッチャー、入湯税実績より推計

雲仙のおすそわけ 2026 Spring / Summer Collection 活動報告

1. 事業の再定義とコンセプト

今年度の「雲仙のおすそわけ」は、特産品の展示販売（物産展形式）から脱却し、雲仙の「文脈」をプロフェッショナルへ届ける「共創型ブランディング事業」へと進化させました。

●**事業名称**：雲仙のおすそわけ 2026 Spring / Summer Collection 3月24日～25日@福岡にて開催

●**コンセプト**：「共創の招待状」

●完成された「観光地」を押し付けるのではなく、雲仙の日常にある「素材（カケラ）」をおすそわけし、プロのクリエイション（料理、ツアー、誌面）の素材として活用してもらうためのプラットフォーム。

●**キーワード**：「日常という贅沢」

●泥付きの野菜、海風、硫黄の匂いといった、地元では当たり前の光景を、都市部のクリエイティブ層にとっての「インスピレーション源」として再定義。

2. 事業の目的

BtoB（事業者）とBtoC（一般消費者）の両面から、雲仙の春夏シーズンの価値最大化を狙いました。

●**BtoB（旅行会社やメディア等の事業者向け）**：パートナーシップの構築

●旅行代理店、メディア、飲食店に対し、雲仙の素材（食材・体験）を提案し、具体的な商品造成やメニュー採用、取材獲得へと繋げる「成約のきっかけ」を作る。

●**一般旅行者（BtoC）向け**：旅行先の候補として真っ先に「雲仙」を思い浮かべてもらうこと

●福岡市の高感度層（薬院・白金近郊の文化・アート・食などに高い関心を持つ層）に対し、GWや夏季休暇の旅行先候補として「雲仙」を第一想起させる。

●**地域経済への還元**：

●「春夏の雲仙は面白い」という実感を都市部で作り、実来訪と継続的な取引（食材流通）を促進する。

事業成果

●**BtoB成果**：インフルエンサー5名、旅行会社3社、メディア3社以上、飲食関係事業者4社以上の参加

●**BtoC成果**：一般来場者数（約110名）の参加

ターゲット	具体的なターゲット像	アプローチ手法
BtoB（旅行会社やメディア等の事業者向け）	飲食店オーナー、旅行プランナー、報道関係者	予約制の商談、プレゼンタイム、高解像度データや最新トピックをまとめた「商品造成サポートセット」の配布。
一般旅行者（BtoC）向け	薬院・白金近郊の文化・アート・食などに高い関心を持つ層	ギャラリー形式の展示、温泉出汁の試飲、雲仙レモネードの提供を通じた「五感での体験」。



日本政策投資銀行一行が来仙しました

3月11日（水）に日本政策投資銀行（DBJ）の職員およそ20名が雲仙市を訪問されました。今回の目的は、DMOとしての雲仙観光局の取り組みと、広域DMO的な活動を展開する九州ボルケーノツーリズム協議会のモデルケースを学ぶことでした。雲仙宮崎旅館では、宮崎社長を交えた意見交換を約2時間実施。雲仙温泉街では、国立公園ならではの自然の中で悠久の時間の流れを感じる散策体験を、小浜温泉では、地元シェフが橋湾の恵みと温泉の蒸し釜を活かした料理をふるまい、ご好評をいただきました。

DBJは国が100%株主を務める政策金融機関で、民間銀行では採算が合いにくい長期・大規模なプロジェクトへの融資を担い、地方の観光地再生や地域経済の活性化にも深く関わっています。

雲仙観光局としては、今回の訪問は単なる視察以上の意味を持つと捉えています。地域の観光振興や産業育成への投資・融資の可能性を探る機関に、資料やデータだけでは伝わらない「地域の本物のエネルギー」を現場で体感していただけたからです。こうした訪問が、将来的な連携や政策的支援への入口となり得る点で、雲仙市という地域にとって大変意義深い機会となりました。

雲仙観光局スタッフも活発に意見交換に加わり、市内を巡る中でDBJ社員の皆さま同士の交流も自然と深まっていた様子が印象的でした。雲仙市の観光と地域振興の取り組みを、現場目線でお伝えできた貴重な時間となりました。



↑実際の商品も体験していただきました

はじめての雲仙さがしを行います

今年も雲仙温泉の恒例行事、新入社員研修「はじめての雲仙さがし」を開催します。この研修は2011年のスタートから数えて今年で15年目。雲仙温泉内の会社の新入社員たちが、座学と温泉街散策を通じて「雲仙を好きになるきっかけ」をつかむ一日です。午前には雲仙地獄などをめぐるフィールドワークからスタート。地元スタッフがガイドとなり、定番スポットから知る人ぞ知る穴場まで、働く人ならではの目線で雲仙を案内します。午後は雲仙温泉街へと舞台を移し、街を歩きながらお客様に紹介したいコースを班ごとに考え、自分たちの言葉で雲仙の魅力を語る力を育てます。

雲仙温泉の一番の財産は、ここで働き、暮らす「ひと」です。この研修が、新しい仲間たちにとって雲仙への愛着を深める第一歩となるよう、今年も温かく迎えます。興味のある方はどなたでも参加可能ですので、お問合せ下さい。

【開催概要】

日時：2026年4月7日（火）9:30～

場所：雲仙お山の情報館別館ほか

持ち物：筆記用具・メモ



↑昨年の様子

R8 年度はインタープリテーション全体計画の活用を強化します！

R8年度、雲仙観光局は「インタープリテーション（IP）全体計画」の活用をいよいよ本格化させます。IP全体計画とは、雲仙の自然・歴史・文化といった地域資源を体系的に整理し、訪れる人に雲仙の魅力を深く伝えるための「地域共通の羅針盤」です。

計画自体は、雲仙市内の各地で作成していますが、今年度はそれを地域住民や事業者が日々の活動に使いこなせる「便利な道具」として根付かせることが目標です。年間を通して、雲仙温泉・橋サンセット・有明ベイサイドなど市内各地でワーキングを開催。動植物や農事暦などをまとめた「フェノロジーカレンダー」の作成を通じて地域資源を発掘し、それをもとに新たな企画づくりへとつなげていきます。最終的には企画発表会やカレンダーのお披露目も予定しています。旅館・飲食店・農家・自然ガイドなど、異なる立場の人が顔を合わせながらアイデアを出し合う場になる予定です。「雲仙のことをもっと知りたい」「地域の仲間と何かやってみたい」と思っている方には、ぴったりの機会です。

具体的な内容はこれから決まる部分も多いですが、地域の皆さんと一緒に作り上げていく一年にしたいと思っています。続報をお楽しみに！



雲仙観光局 よろず相談窓口



お気軽にご相談ください

- とくに得意です
 - ・人と人をおつなぎする
 - ・SNSの活用
 - ・Googleのビジネス活用
- どんな相談ができるか
 - ・観光や地域づくり
 - ・SNSやWebまわり
 - ・人材育成 など

1年間、様々なお問合せをいただきました。ご利用いただきありがとうございました！
来年度もひきつづき、相談事やご意見をお聞かせください。どうぞよろしく願いいたします。

地域営業部 担当

